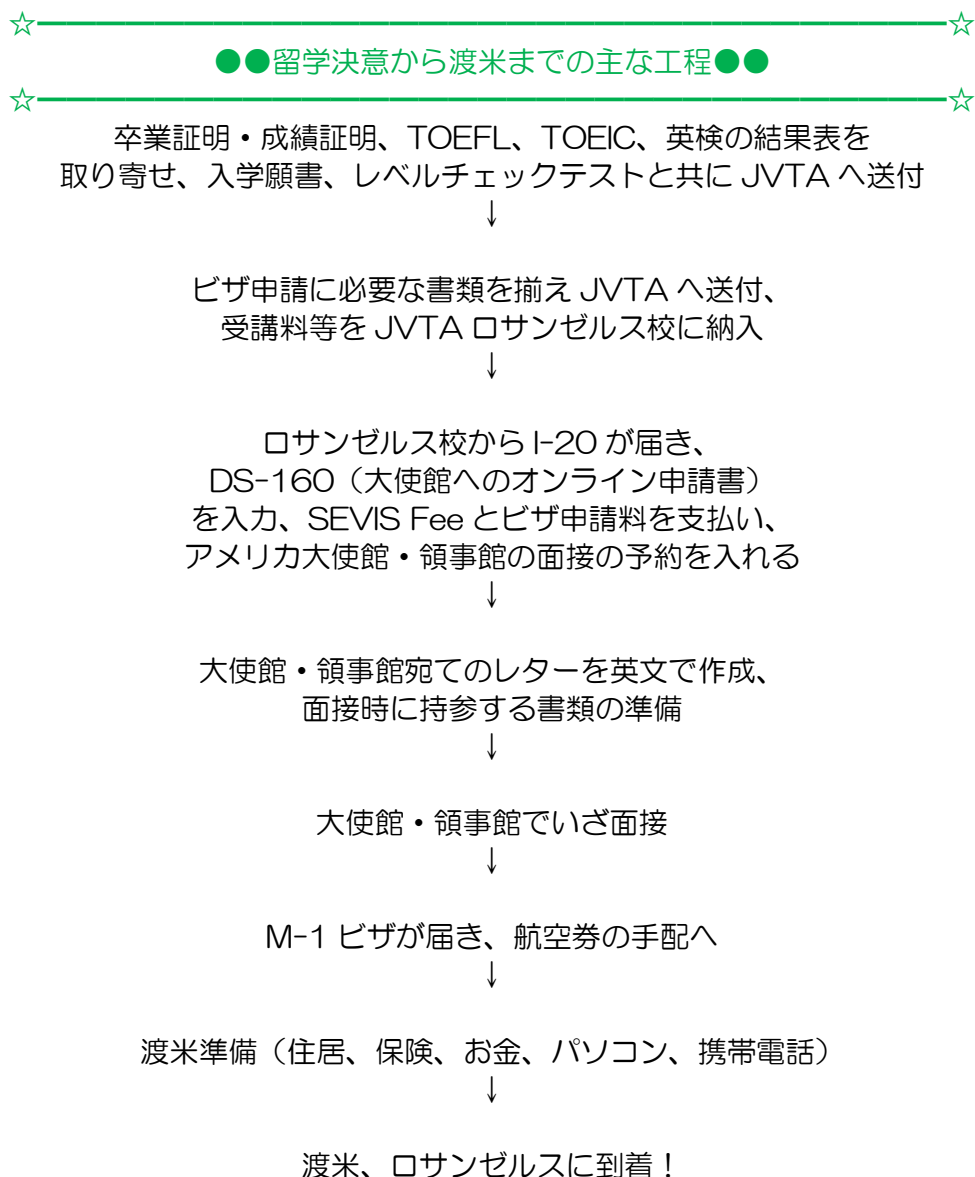


もっと知りたい！M-1 ビザ取得体験レポート

一般的に「アメリカのビザ申請手続きは煩雑」と言われています。しかし、実際にはどのような手続きがあるのか、これは意外にも知られていないことが多いようです。そこで、今回はこうした出発までの手順について、現在4月開講コースで留学中の矢富清華さんにお話をうかがいました。



★留学生：矢富清華さん★ ◦ +。 oO*☆*Oo。 ◦ +* 。 ☆*:

2011年4月期の映像翻訳LA留学コース受講のためにM-1ビザを取得して渡米、現在留学生生活を満喫中。



●留学を選んだ理由は何だったのでしょうか？

東京校の基礎コース・I で海外ドラマやドキュメンタリーの素材を使って映像翻訳を学んだ際、重要なのはアメリカの文化や歴史を知ることだと実感したのがきっかけですね。私はアメリカの大学を卒業後、英語力を活かしてIT 関係の職についていました。業務は主に、日本と海外の技術者の間のメールでの取り次ぎ、不具合のクレームや改善要求で、時にはドキュメントやマニュアルの翻訳もしていました。しかし、決まった表現しか使わないため、スピーキング力やリスニング力が落ちていたと感じていました。久しぶりに話そうとするとうまく言葉が出てこなくてもどかしい、くやしいという思いがありました。これがもう一度アメリカで学び、映像翻訳はもちろん、もっと広い知識を持ちたいという強い動機になりましたね。1 週間に1 回ではなく、現地で週に4日通い、もう一度存分に英語に向き合いたいと思ったんです。

●最終学歴の成績証明書・卒業証明書は取り寄せにどのくらいの日数がかかりましたか？

私の場合、アメリカの大学にメールで問い合わせしてから、2週間ちょっとで郵便で送られてきました。依頼したのが12月でクリスマスホリデーの時期だったので心配していたのですが、スムーズに届いてラッキーでした。成績証明書・卒業証明書には有効期限がありませんから、まだ留学を迷っている方でも、早めに取り寄せておくとういと思えます。

●M-1 ビザを取得するためのさまざまな書類提出やDS-160(大使館へのオンライン申請書)はいかがでしたか？

まず、ビザ申請の際には銀行預金また郵便貯金の残高証明書（英文）が必要です。JVTA に提出用、ビザ申請用、そしてアメリカ入国時の手続き用の3通を用意しなければなりません。受講費用や滞在費をカバーできることを証明するには、口座に25,000 ドル以上の残高が必要なので、予め用意しておくことをお勧めします。私は父親に願い出てクリアしましたが、これは一朝一夕では用意できないので、今検討している皆さんにはぜひ知っておいてほしいですね。

また、ペイジーの利用にも気をつけたほうがいいですよ。

私はビザ申請料をATMから振り込んだ際、銀行口座から直接振り込みにしたので、ビザ申請時に提出する領収書に口座の個人情報に記載されてしまいました。入金額のみを記載したい場合は、面倒でも一度現金を引き出してから、入金したほうが良いようです。また、DS-160では、過去5回の渡米歴の記入が意外と大変で、切れてしまった以前の過去のパスポートを探すため、実家に連絡するところから始まりました。収納場所を家族に伝えて郵送してもらった後、各ページに押されたスタンプから日付を調べることが必要でした。ちなみに、過去にアメリカのドライバーズライセンスを持っていた場合も、ナンバーを調べておいた方がいいですね。



●アメリカ大使館宛てのレター（英文）作成では何を書きましたか？

「なぜ留学する必要があるのか」「なぜアメリカなのか」「この留学経験を活かして帰国後何をするのか」という点です。またJVTA スタッフのアドバイスにより、「留學生活に必要な資金を持ち合わせていること」「一定期間が終わったら必ず帰国すること」なども盛り込みました。

●大使館での面接の様子について教えてください。

予約は午前10時（これは入館手続きが開始する時刻で、面接開始時刻ではありません）でしたので、9時40分ごろ到着すると、想像以上に多くの人々が待っていました。入館までには1時間くらい待ったので、本を持参するほか、寒い時期なら防寒対策をしたほうがよいと思えます。

面接は入国審査のカウンターのような場所で行われました。最初は日本語で面接が始まりましたが、提出書類から翻訳学校への留学が目的と分かると、急に英語に。さすがに慌ててしまったのですが、分かりやすい

綺麗な発音で話してくれたので落ち着いて対応することができました。質問内容はカバーレターの内容に沿った簡単なもの以外に、「留学資金をどうやって貯めたのか」なども聞かれました。ちなみに、私のように20代の人より、30代40代の方が留学する場合、もっといろいろと詳しく聞かれるようです。

●留学中のステイ先探しはどのようにしましたか？ポイントは何でしょう？

最初はネット検索などで家賃などの相場を調べていましたが、最終的にはJVTAから情報をもらったホームステイの斡旋業者に申し込み、今のホストファミリー宅に決めました。車を持つ予定はなかったので「学校から徒歩圏内であること」「治安の良いこと」「インターネットなどの通信環境が整っていること」などのポイントは、JVTAのスタッフからいただいたアドバイスの通り最初に確認しました。LAは車社会ですので、賃貸住宅を借りて自炊や買い出しをするのは車がないと正直大変だと思います。学校では通訳・翻訳という日本語と英語両方を使う環境ですので、帰宅後にネイティブのファミリーと食事をし、たくさん会話をするによってどっぷりと英語に浸れるホームステイはやはり留学生にはおすすめです。

●航空券手配はどのようにしましたか？

格安航空券の会社に数件問い合わせ比べてみました。往復券で出発と帰国の日付が決まっているもの（数回まで変更もできる）もありましたが、米国滞在期間が1年近くになると金額も高くなるようだったので、片道の航空券を購入して渡米しました。帰国の際にまた格安のものを探すこととなりますので、日系スーパーマーケット内にある広告をチェックするなど、情報収集をこまめにしていこうと思っています。

●パソコンはどのようなものをお持ちになりましたか？

ちょうどパソコンの買い替え時期と重なったこともあり、ノート型を購入して持参しました。海外メーカーでWindows7搭載、液晶は16インチです。映像翻訳では映像を多く扱うのでメモリー容量も大きめにしました。また、日本の家族や友人と毎日のようにSkypeで話すのでカメラとスピーカーが内蔵されているものにして良かったです。ただ、64ビット版のWindows7 home premiumにしてしまったために、JVTAで販売している字幕制作ソフトとの互換性がありませんでした。この字幕制作ソフトを64ビット版にインストールするには、Windows7 professionalへのアップグレードが必要なようです。やはりパソコン購入の際には、JVTAスタッフにひとこと相談すれば良かったと思っています。

●日本から持参して便利だったものは？

「マキロン」や胃薬、風邪薬といった使い慣れた薬ですね。日系スーパーマーケットでは販売されている種類も少ないし、価格も割高です。実は、渡米早々にホームステイ先のガレージでおでこを強打するというケガをしまして（笑）、「冷えピタ」は本当に助かりました。また予想以上に日差しが強いので、日焼け止めにサングラスは必需品です。ちなみに、私はSPF50のものを愛用していますが、SPF90を使用しているクラスメートもいますよ。

●携帯電話はどのように入手しましたか？

日本で契約してくるクラスメートもいましたが、私はこちらに来てから日系のスーパーマーケット内にあるKDDIで契約しました。400分のフリーミニッツ（無料会話）がついて月35ドルほどです。日系スーパーマーケットにはこの他にNTT Docomoもありますが、総じて携帯電話料金は日本より安めだと感じます。

●現金・トラベラーズチェック・銀行口座、当座の生活費についてはどうされましたか？

持参したのは3,000ドルほどのトラベラーズチェックと、数万円の現金だけです。到着後すぐにホームステイ斡旋業者にトラベラーズチェックで1,075ドルを支払いました。内訳は4週間分のホームステイ代800ドル、斡旋料200ドル、さらにロサンゼルス国際空港からホームステイ先への車での送迎代が75ドルです。ちなみに、タクシーを使えば36ドル(+空港使用料やチップ)ほどだそうです。初めての土地に不安を感じる留学生なら送迎をおすすめします。銀行口座はパスポートとI-20を持っていくとすぐに開設できたので、後日、日本の家族からその口座宛てに振り込みをしてもらいました。

●学校、クラスの様子について教えてください。

毎日の提出課題をこなすのは予想以上に大変で、日々みっちり学習しています。それでも煮詰まらないのは、日ごとに違う切り口で学ぶことで頭を切り替えられるからだと思います。訳出文字数やその流れを重視する映像翻訳に比べ、通訳と一般翻訳では基本文法をもとに全ての情報を落とすことなく正確に訳出することが求められます。学校にはネイティブの方や、日本人でも長年アメリカにお住まいの方がいるので、日本にいた頃は考えもしなかった特有の問題が議論に挙がりますね。例えば、英語圏で暮らしていると



“日本語の裏に英語の透けて見える”訳をしてしまいがちです。

つまり、英語に馴染むほど誤訳はなくなり翻訳のスピードはあがるものの、その分「自然な日本語表現」を掴む感覚が鈍るということでしょうか。アメリカに来て再認識しているのは、翻訳には日頃から適切で美しい日本語に触れておくことが重要だということですね。

●今回の留学で身につけられそうなこと、現在の目標は何でしょう？

運良く素晴らしいホストファミリーに恵まれましたので、日常からアメリカの文化や考え方、言葉の文化的背景を吸収できていると実感しています。

また、学校でハリウッドの映像業界に精通した講師陣から直接刺激的なレクチャーを受けられるのもロサンゼルスならではの経験。この経験を存分に活かし、机上で辞書をめくっていただけの頃は浮かばなかったような生き生きとした訳語を捻出できるようになりたいと思っています。

いかがでしたか？ 留学の手続きには多くの関係機関への書類手配などが必要になります。矢富さんにもアドバイスをいただいた通り、依頼手続きは余裕を持って早めに着手するようにしたいですね。

なお、今回のエピソードは2011年4月期に出発した矢富さんの場合をご紹介します。留学時期や依頼先の都合などによって状況は変わってきますので、あくまでもご参考にさせていただきながら、常にご自身で確認をしていただければ幸いです。

日本映像翻訳アカデミー・映像翻訳LA留学コース